



# AbBa便り

「アバ」=お父ちゃん

2021年 9月 20日 No.36

オンライン2期 特集号

## 父の学校に参加して

オンライン 2期 1班  
ジョン・ビヨンドウ



男性はみな「良い父親」「立派な夫」を夢見ます。しかし何が「良い父親、立派な夫」なのかは、はっきり分かりませんでした。だから期待を持って「父の学校」の扉を叩きました。

男性は生まれてから、2つの人生を生きることが分かりました。一つは息子として、もう一つは父親としての人生です。それで男性にとって、父親との関係が「人生の第一歩」であることを学びました。父親との関係が壊れた人は、誰よりも頑固で、怒りも強く、一匹狼になってしまうので、それをまず回復するために、父親に手紙を書きました。

誰でも父親に対する傷と怒りがあります。その傷と怒りを解決しなければならぬことを、改めて学びました。出席者の大多数が、それを学んだと思います。そして、あれほど嫌っていた父親と自分が、実はそっくりだということもビックリです。父親が自分にした通りに、自分が家族にしていたことに気づき、悔い改めに導かれました。

そして日本の社会で、今何が一番問題かという、夫婦の問題だと思います。だからこそ父の学校の学びは絶対に必要だと思います。真の夫婦の愛と赦し

合える方法を学び、それを実践することによって、真の癒しと回復が与えられると思います。その力が「父の学校」にはあります。

「父の学校」で学んだことをさっそく妻や息子、娘に適用したら、反応がとても良かったです。これから周りの人々に「父の学校」をお勧めします。

### わたしの人生の使命書

私をこの世に送って下さった神様と、一人の人間として私を育てて下さった多くの方々に感謝の心を持って、毎日最善を尽くします。

愛する妻を一生を共にするパートナーとして、もっと沢山の愛を実践します。家庭の夢を実現していくため、愛する妻と共に努力します。やるべき夫としての役割を遂行し、夫としての品位を失わないように正しい言葉を使い、計画性のある生活を愛する妻と共にしていきます。

二人の子供の父親として、子供たちが社会で一人前の人へ成長するよう、よい見本となります。大人の物差しで子供の思考を制限しないよう、子供の視点で考える余裕を持ちます。

また、私の人生に大きな影響を与えた両親を愛し尊敬します。子供たちへの愛と同じほど両親を愛し、両親の世代と子供の世代を繋ぐ、連結の輪としての役割を果たします。両親の愛がそのまま子供たちに引き継がれるように努力します。

「主よ、助けてください！ 私が父親です！」



オンライン2期 5日目の様子 (下部中央は家族ポスター)

### アバ便り 36号

- 父の学校に参加して ジョン・ビヨンドウ …… 1
- 変わるべきは自分だった! 向川 誉 …… 2
- 今も私の心は工事中です 小川 雅之 …… 2
- ロサンゼルスより参加して 永野 力 …… 3
- グループリーダーの恵み 岩崎 博文 …… 3
- 和解と感謝(埼玉7期より) 土屋 賢吾 …… 4
- 会計報告 岩崎 鉄男 …… 5
- ホームページを刷新! 沖 幸男 …… 6-7
- 事務局だより・今後の開催予定 …… 8

## 変わるべきは自分だった!

オンライン  
2期 3班  
向川 誉



新婚時代から10年間も続いたコミュニケーションの希薄により、夫婦関係は冷え切り、家庭は自分が不在の「母子家庭」のような雰囲気でした。こうした家庭の原因は彼女の態度のせいだと決めつけ、彼女が変わるのを待つしかないとも思っていました。

しかし父の学校での学びを続ける中、子どもの頃に経験した家族関係を、自分がそのまま再現しているに過ぎず、結局は自分が原因であることに気づきました。責められるべきは自分であり、変わるべきも自分だったのです!

### 夫婦で参加した最終日

父の学校の最終日は、夫婦二人で参加しました。そこでの配偶者に宛てた手紙の分かち合い、洗足式などが、夫婦関係を改善するきっかけとなりました。その夜には、夫婦が一緒になって祈る時間を毎日持つというルールを決めて、二人で悔い改めの祈りを主に捧げました。

これを機に、失われた十年間を取り戻すような新しい家庭を築いていきたいと願っています。主にあってわたしが生きる時、十字架にあってわたしが死ぬ時に、家庭が回復すると確信しています。

家庭回復の機会を用意くださった主に、感謝を捧げるとともに、円滑な学校運営を支えておられたスタッフの皆さまに、深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



## 今も私の心は工事中です

オンライン 2期 3班  
小川 雅之



学びの中で気づかされた父親からの影響に、はじめは驚きました。愛する7歳の息子に「しつけ」と称してやっていた行いが、実は自分が父親から受けて嫌だったことを繰り返していたことに気づきました。

また仕事から帰ると、疲れから当たり散らすこともありました。しかしよく考えると、家族との時間を優先して今の仕事に就いているのに、本末転倒でした。また日曜日にはあわただしく教会に出かけ、息子には信仰を持ってもらいたいと願いながらも、取っていた行動は、律法的な冷たい態度であったらうと思います。

しかし、家庭のリーダーとして「祭司としての責任」があることを学び、「主よ、私が父親です」と宣言する中で、「そうだ、我が家の父親は私だ」と意識が変わり、「父が生きれば、家庭が生きる」の言葉の通り、まず自分が変えられることによって、家庭が変えられていったのです。

父の学校での宿題として息子に手紙を書く中で、出産の時の「元気に産まれてきてくれた姿に涙したではないか」との思いが蘇り、それを息子へ伝えようと思いました。手紙を読んであげると息子はとても喜び、「パパ、かわいくなったね」と笑顔でほめてくれました。

今は家事を積極的に手伝い、毎日、祝福の祈りを祈り、一日の始まりと終わりを主への感謝に変えることができるようになってきました。今も私の心は工事中です。日々新たにされ続けなければと願っています。



## 米国ロサンゼルスより参加して

オンライン2期3班  
永野 力



この度、主の御守りのもと、父の学校オンライン第二期生（2021年5月～6月）を無事終了することができました。受講者の中で私が唯一海外からの参加者でした。そうした観点から感想を述べたいと思います。

言うまでもなく、時差が一番のハードルでした。父の学校ではメインの授業を、日本時間土曜日午後2時から開始、午後6時頃に終わりました。それをわたしのロサンゼルス現地時間で換算すると、前日金曜日夜10時から未明2時という時間帯です。ですので、授業2時間を過ぎるあたりから、頭がボーとなったりと、賛美の音楽が流れると子守歌に聞こえてくるのです。それを心地よく目をつぶって聞いていると、それを画面で気づいた司会の近藤兄からは「ロサンゼルスの永野兄、起きて下さい！」と、ハッと起こされることもありました（主の御声のようでした!）。

最後の授業では、愛する妻を交えての洗足式でした。妻はさすがに12時を過ぎてからはついていけませんので、私は一人で寂しく自分の足を洗うことになりました。今から思えば笑い話ですが。

### 励まされた仲間との交わり

しかし、この時差のことを抜かせば、得るものは限りなく多かったです。なによりも、日本全国から、同じ主を信じる兄弟との交わりを通じて、お互いに励まし合い、非常に楽しい時間を過ごすことができました。主に感謝します。海外からの参加者もますます増えることを願っています。



## グループリーダーの恵みと感謝

神戸 7期  
岩崎 博文



主の恵みで、オンライン1期、2期のグループリーダーを務めさせて頂きました。オンラインでの父の学校は最初は想像できませんでしたが、地域を超えて多くの皆様と、画面を通じて話ができることは、かたわらでお話しているのと、ほとんど変わらないことを知りました。またオンラインでの開催では、サブリーダーの役割が大きいことも知りました。班での分かち合いの内容を記録したり、参加者の状況を連絡して、リーダーの補佐をすることなどです。

参加者も1日目は半信半疑の思いでしたでしょうが、2日目、3日目と進むにつれ、皆さんの顔、意識、優先順位などが変わっていくのが分かりました。特に1日目の父の影響力の証、講義を聞いた後のグループでの分かち合いでは、父親としての悩み、人に相談できないモヤモヤ感、子どもに対する問題などを同じ父親、仲間と話すことができ、お互いに親近感を覚え、話がはずんでいきましたね。

### あなたの優先順位は何ですか？

私もビックリしたことの一つに、当初「土曜日は仕事で出れない日もあるので、全部出なくてもいいですか？」と、質問してきた方がありましたが、主はその方の心の願いをご存知で、私たちの祈りに応えてくれました。あなたの優先順位は何ですか？仕事ですか、家族ですか？答はもちろん家族、家庭です。毎日、生活しているところですから。結局その方は、5日間すべて参加できるようになりました。

グループでの分かち合いの時間が、毎回2回、20分ずつありました。さらに週の間にもZoomで交わりが1回持たれました。更にメールやLINEで、互いの祈りの課題のために、祈り合うことができました。そうした中で事務的な連絡以外にも、信仰の証が自然となされました。

神様がそれぞれにふさわしい導きを与えて下さり、祝福と恵み、励まし合いを通し、互いが教えられ、勇気づけられました。特に5日目は愛する奥様も一緒に参加下さり、奥様方の笑顔が見られた時、父の学校をやって本当に良かったと思わされる瞬間でした。父親の回復、家族の回復がなされましたね。奉仕者として喜び、感謝、祝福、恵みでした。

ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。

## 和解と感謝

### 埼玉 7期に参加して

埼玉 第7期  
土屋 賢吾



2020年11月に「埼玉第7期」の父の学校に参加して、自分が今、感じていることをお伝えします。

離婚をして独身である私は、愛する妻という存在がないため参加することを戸惑っていました。今は離れて暮らす子どもたちのことや、別れた妻の辛苦を心から悔い改めることが、今回初めてできました。

いつも自分中心で自分の感情に軸足を置いていた私は、力不足で愛の足りない父親でした。信仰生活をスタートしたのは罪をおかしてやり直しの人生の為でしたが、今までしてきたことを振りかえると、高慢で偽りの生き方をしていたからこそ、罪をおかしてしまったのだということも分かりました。

最終日には母親が参加してくれて、洗足式で今までの親不孝を詫び、感謝の気持ちを伝えられました。あいにくその後、骨折して入院してしまった母を退院後の通院に付き添うこととなり、月に一度ではありますが、病院の帰りに買い物をしたり、食事に連れて行ったりとささやかな親孝行ができ、少し前では考えられないほど仲良くできています。母も想像もできないほどのことをしてもらっていると、

喜んでくれています。親子の和解ができたことを心の支え、信仰の証として自分の子どもたちとも、いつか和解ができることを毎日祈っています。

いつも当たり前に思っていたことも当たり前ではなく感謝し、満ち足りることを感じられるようになったこと、そして今の喜びに溢れた生活ができるようになったことも、考えると父の学校のテキスト73ページにある「おにぎりとコッペパン」の証に大きな影響を受けたからでした。

つまらないプライドや偽りの愛情や、間違った威厳で家族を苦しめた私でしたが、これからは良き父、良き夫となれますように、父の学校のテキストと学びをいつも身近に置いて、自分点検を忘れずに、子どもたちとの再会を楽しみにして生きていこうと思います。父の学校に参加できたことに心から感謝しています。

父が生きると家庭が生きる！

父が生きると社会が生きる！



埼玉 7期 (2020年11月)  
会場：罪人の友イエスキリスト教会

上：講義の様子  
右：修了式にて



## 2021年度 父の学校 日本運動本部 収支報告書

皆様のご支援ご協力により、父の学校の活動が前進  
できていますことを、心より感謝申し上げます。

父の学校 会計 (信州1期)

岩崎 鉄男



自 2021年 1月1日 至 2021年 8月31日

【単位：円】

収入の部		
項目	1月-8月	備考
前年度繰越金	2,495,679	
父の学校開催現地収入	122,790	中国人父の学校ユニホーム・備品代、オンライン2期本部主催参加費
開催地献金	3,000	オンライン2期
基金・感謝献金	234,000	千・千基金、感謝献金、累計29件
本販売	0	
韓国本部支援金	381,081	父の学校韓国本部からの支援金 (8回)
銀行受取利息	15	ゆうちょ銀行・みずほ銀行
合計	3,236,565	

【単位：円】

支出の部		
項目	1月-8月	備考
国内活動費	0	
本部・開催地備品	246,719	オンライン2期備品・修了証・印刷代・事務用消耗品
情報維持管理費	70,140	zoom年間使用料、HP運営システム一式着手金
光熱・消耗品費	40,000	ランサン会場使用料
レンタルBox費用	76,000	レンタルボックス賃貸料
AbBa便り・諸経費用	75,516	AbBa便り発送料(35号)【34,780円支払済(12/11)、部数:3,000枚、印刷代:31,900円(15,950×2)、送料代2,440円(1,220×2)、銀行振込340円】
通信・銀行手数料・雑費	7,742	口座徴収料金・振込み送料
次年度繰越金	2,720,448	
合計	3,236,565	

尊いサポート献金を感謝します。

【韓国ウオン口座】

【単位：KRW】

収入の部		
項目	1月-8月	備考
前年度繰越金	2,481,208	*2019年1月8日日本円に換金し、資金移動。KRW口座に前年からの繰越金残高
基金収入	0	*2020年4月28日入金以後5か月分KRW口座より未処理分
その他収入	0	
合計 *	2,481,208	*個人名義の銀行口座委託預金残高

【単位：KRW】

支出の部		
項目	1月-8月	備考
共通活動費	0	
国内活動費	0	
円銀行口座へ移行	0	
次年度繰越金	2,481,208	円相当額：232,043円 (8月末円相当額：93.52円/1000ウオン)
合計 *	2,481,208	*個人名義の銀行口座委託預金残高

\*KRW口座、受託管理者の通帳が無く資金移動未処理にて本部保留。

(運動本部 会計担当)

## 愛する修了生・ご家族のみなさまへ

父の学校の働きをご支援下さり感謝いたします。  
今年前半も、皆様のお祈りと愛のご支援によって  
「オンライン父の学校」として開催され、家庭の回復により多くの慰めと感動を与えることができましたことを、心から感謝いたします。

コロナ禍の長期化により、これまで体験したことのない2年目を過ごす中、コロナ対策に万全を期してオンライン父の学校を開くことができ、新しい方式

で行われました。修了生方々の応援・お互いの学び合い「目黒ミニ」の開催もオンラインで開催され、全国からの修了生が応答され参加し、共に学び合う機会が与えられました。「禍」に揺れた時代、家庭回復がさらに豊かに実を稔らせ、主のみ業を見ることを期待しております。感謝をもって会計報告をさせていただきます。皆様のご健康と祝福を心よりお祈り申し上げます。

父の学校 日本運動本部一同

# 父の学校ホームページを刷新！

神戸 4期  
沖 幸男



## ホームページ刷新の経緯

これまでの「父の学校」のホームページは、文勝煥兄（東京1期）が立ち上げられ、お一人で管理していただいていたものです。コロナ禍のため「父の学校」もオンラインで開催するなど色々なところで変容が迫られています。ホームページでの情報発信もますます重要になり、わかりやすく、常に新しい情報の提供が求められています。ただ、これを文兄の献身的なご支援だけに頼るわけには行かないでしょう。

そこで、外部にフレームワークの作成をお願いし、更新しやすいホームページへの切り替えが決議されました。2021年初頭のことで、村上本部長（横浜3期）をリーダーに、小泉金次郎兄（横浜3期）、長澤康男兄（東京8期）、岩崎鉄男兄（信州1期）、村上厚朗兄（横浜4期）、島田栄顕兄（神奈川2期）、近藤高史兄（名古屋1期）と私でワーキンググループを作り、8月26日ようやく公開にこぎつけました。ぜひ一度ご覧ください。アドレスは変わっていません。

<https://fatherschool.net/>

## 新しいホームページの構成

ホームページを刷新するにあたり、何の為のホームページか、誰に対して情報発信するのかという本質的な議論から始めました。そこで得られた結論は；

1. 「父の学校」の開催案内を受け取り、参加を勧められた人がHPを確認し、安心して参加できる様に
2. 幸せな家庭を築きたい男性が、安心して参加できるセミナーの紹介
3. 「父の学校」修了生が集える場の提供
4. 奉仕者のための資料室 です。

これを形にしたのが、右の「トップページ」です。

全ての思いがトップページに込められています。暖かく親しみやすくするため、赤色を基調にして柔らかいイラストでトップページを飾りました。このイラストは、神戸支部が開催案内のチラシに使っているものです。ホームページへの転用を快諾頂いた神戸東部教会 韓 承哲牧師（神戸 1期）に感謝します。

ここには“どんな方に受講して頂きたいか”、“どんな内容か”、“どんな成果が得られるか”が凝集されています。特に“安心して参加できる”ように、これまでの実績をわかりやすく示しました。



リニューアルしたトップページ

小泉兄のまとめられたデータをもとに、近藤兄にひと目でわかるイラストを作ってもらいました。

父の学校は世界の森を元、「読書」と「気づき」と「家庭での実践」を大切にしている学校です



父の学校の歩みと拡がり

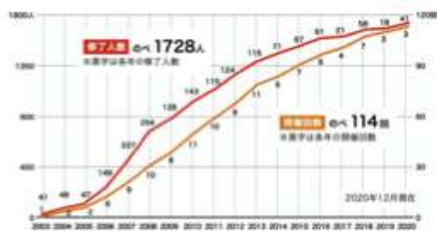
「父の学校」〔正式名称：「ツラノ 父の学校」未注〕は、1995年、韓国で最初に開催されました。日本では、2003年 静岡から指導者、奉仕者の方々に来ていただき、大阪で最初の父の学校が開催されました。2006年、東京で開催された機会に、「父の学校 日本運動本部」が設立されました。以来、日本運動本部を中心に、全国26地域で102回 開催しています。

また、2011年にはハワイで現地に住む日本人のために、海外で初めて日本語による「父の学校」を開催し、以来ニューヨーク、ロンドン、ロサンゼルスなど7つの地域で11回開催してきました。



父の学校の拡がり（開催地域と開催回数）

更には、2020年からは、オンラインでの父の学校も開催しています。コロナ禍によってみんなが集まって開催することが難しくなり、新たにオンラインでのプログラムを開発し実施しました。これまで開催していなかった地域からも参加いただけると同時に、海外からも参加いただきました。



父の学校の歩み（開催回数と修了者数）

このように「父の学校」は、既に国内で102回、海外で11回開催し、1728人が修了しています。

日本運動本部の歩み

1995年 10月 韓国オンヌリ教会 ツラノ書院で父の学校 開催

父の学校の歩みと拡がり

ホームページの新しい展開

「修了生が集える場の提供」が、ホームページに課せられた今後の役割です。「集える場」は、若手の奉仕者の皆さんからの提言です。せっかく「父の学校」に集められ分かち合ってきた皆さんと、修了後に繋がりが切れてしまうのをなんとかしたい。分かち合い、励まし合う場が必要です。

一つは、パスワードで保護された「会員のページ」に、そのような場の構築を試みます。

もう一つは、ブログの活用です。ブログにはコメントを書き込めるようになっていました。この機能を利用した、双方向の情報交換が実現しないか。若い人たちの思いと知恵に期待しています。

父の学校は世界の森を元、「読書」と「気づき」と「家庭での実践」を大切にしている学校です



ガミガミいうガミ子ちゃんが、かわいい子ちゃんに！

掲載日：2021年8月26日 | 最終更新日：2021年8月26日 | カテゴリ：修了生の声

修了生から、うれしい感想文が届きました！

息子から『今までは、とっても小さい事にガミガミいうガミ子ちゃんだったけど、かわいい子ちゃんになった』と言われていました！  
「父の学校」の学びの中で気づかされた父親からの影響に、始めは驚きました。  
7歳の息子に対してしつこく称して当たり前に行っていた行いが、実は自分が父親から受けて継いだ事である事に気づきました。  
「父の学校」の学びを重ねる中で家庭のリーダーとして、祭司としての責任があることを学び、早速子供と愛する妻に朝と晩、手を置いて祝福の祈りをする事を始めました。  
そして『主よ、私が父親です』との宣言をする中で、我が家が礼拝の場所として心に新しく祭壇が築かれた思いがしています。

さらに、皆さまからは以下の様なメールも頂いております。

「母の学校」の案内ありがとうございました。早速申し込みをしました。  
「母の学校」の参加をしようと思った一番の理由は、母の学校も開催されると知った息子がなんと『ママにも母の学校やってほしいな〜』と言ったことです。息子に理由を言いたら、『父の学校』をうけてから『パパが、かわいいパパになったから』だそうです。『今までは、とっても小さいことにもガミガミガミガミいうガミ子ちゃんだったけど、かわいい子ちゃんになった』と、変化した父親のことを息子は表現していました。

この様に「父の学校」の影響が家庭全員に拡がり正に「父が生きて、家庭が生きる」が始まっている様子が報告されています。



コメントを残す

メールアドレスが公開されることはありません。\*が付いている欄は必須項目です

コメント

名前\*

メール\*

「ブログとコメント」修了生の交流のために

ホームページ刷新にあたりご尽力いただいた皆さま、特にこちらの我儘を快く聞き入れ、希望するもの以上の提案をしていただき、それを形にいただいたBREADFISHの丸山さまに感謝いたします。

「あなたがたのうちの心に知恵のある者は、みな来て、主が命じられたものをすべて造らなければならない。」

出エジプト記 35章10節（新改訳2003）

## 事務局だより



日本運動本部長 (横浜3期)  
村上 洋一



### 「励まし」と「気づき」と「家庭での実践」

父の学校日本運動本部では様々な事情により、いくつかの新しい取り組みを進めています。昨年はオンラインによる父の学校をスタートし、今年は「ホームページ」及び「アバ便り」のリニューアルを、手掛けることになりました。新しい事を始める時には、多くの助けと励ましが必要であると、実感しています。



オンライン2期 (5日目)

### オンライン父の学校に挑戦

オンライン父の学校を立ち上げる際は「三密」をむしろ特徴としている父の学校に、オンラインは難しいのではないかとおりましたが、Zoomに備わっている「グループ分け機能」を体験した時、これならできそうだと感触がメンバー全員に与えられ、その後手探りの中でしたが準備をし、オンライン1期の実現(2020年9~10月)となりました。詳細はホームページにある「アバ便り」第35号をご覧ください。

### ホームページをリニューアル

一方「ホームページ」をリニューアルするにあたっては、父の学校とはどのようなものであるかを改めて考えるため、テキストや資料を見直し、苦心の中でたどりついたのが「父の学校は『励まし』と『気づき』と『家庭での実践』を大切にしている学校です」という言葉でした。この背後には、韓国本部主催のビジョンナイトで語られた、次の言葉が私の心に強く留まっていたことがあります。

「父の学校は理論ではない！ 教えるのでもなく！ セミナーでもない！」

### 父の学校は、どのよう(How)にして？

- How 1 → キリストの内！ (In Christ)
- How 2 → はげましながら！ (Encouraging)
- How 3 → 聖霊運動で前進！ (by the Spiritual movement)

### 「父の学校は理論ではない！ 教えるのでもなく！ セミナーでもない！」

このことから、聖霊が働く父の学校プログラムでは、参加された人それぞれに必ず必要な『気づき』が与えられることと、その『気づき』から『家庭で実践する一歩』を、踏み出すのに必要なのが、『仲間からの励まし』であり、更に『聖霊の励まし』であると理解するに至りました。

小さな一歩でも、ともかく踏み出すこと！ その時に聖霊の具体的な力と助けを、体験していくと思います。今回リニューアルされた「アバ便り」にも、父の学校に参加された方々の『気づき』と『新しい一歩』が掲載されています。この証が、多くの方々にインパクトを与え、家庭回復のために用いられることを切に願います。



「父が変われば、家庭が変わる！」

### 今後の開催予定

- ① オンライン 父の学校 第3期  
10/2 (土) から毎土曜日の5週間 (Zoom)
- ② オンライン 母の学校 第1期  
10/2 (土) から毎土曜日の5週間 (Zoom)
- ③ 対面式 父の学校 埼玉8期  
11/13 (土), 11/20 (土), 11/23 (祝)  
会場：罪人の友イエスキリスト教会  
※対面式はコロナの状況により、延期や運営方法の検討などの可能性あり

### ツラノ 父の学校 日本運動本部

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-21-11 代々木MMIビル3階  
※参加申込・お問合せは 090-6017-2792 (村上) まで

### ゆうちょ銀行 口座 父の学校日本運動本部

記号：10140 番号：1839181  
他金融機関から「ゆうちょ銀行」店名 ○一八 店番 018  
預金種目 普通預金 口座番号 0183918

### 父の学校 ホームページ

<https://fatherschool.net/>

QRコードから  
スマホでも、  
ご覧頂けます。

